

# Labo News

## らぼニュース

発行所 公益社団法人愛知県臨床検査技師会  
 住所 名古屋市中村区名駅5-16-17  
 花車ビル南館 〒450-0002  
 電話 052-581-1013  
 F A X 052-586-5680  
 ホームページ <http://www.aichi-amt.or.jp/>  
 Eメール [aamt@aichi-amt.or.jp](mailto:aamt@aichi-amt.or.jp)  
 取引銀行 三菱東京UFJ銀行 柳橋支店  
 普通口座731-677  
 発行人 梶山 広美  
 編集人 山田 真

## No.420 目次

- ◆平成28年度スキルアップ研修会に参加して… (2)
- ◆New Yearパーティーを開催して… (3)
- ◆尾張東地区・一般検査研究班  
合同研修会に参加して… (3)
- ◆尾張北地区研修会に参加して… (4)
- ◆尾張南地区研修会に参加して… (5)
- ◆VCT事業ボランティア募集について… (5)
- ◆第18回西三河がんフォーラム… (6)
- ◆第61回愛知県糖尿病療養指導研究会  
学術講演会… (6)
- ◆講演会・研究会… (7)
- ◆AICCLS 愛知県臨床検査標準化協議会  
通信 (第47回)… (8)

## 日臨技報告

### ～平成29年度の事業計画 (案) 概要より～

愛臨技会長 梶山 広美

(日臨技副会長)

平成29年1月27日(金)28日(土)の両日、各都道府県の幹事(当会:藤田副会長)が東京に集まり、27日は国会見学と宮島参議院議員による情勢報告会、28日は日本臨床検査技師会館にて全国幹事連絡会議が開催されました。全国幹事連絡会議は毎年1月に開催され、日臨技の次年度事業計画(案)概要の説明と都道府県からの要望や意見を聞く、日臨技と都道府県技師会との橋渡しに重要な役割を果たす会議です。27日の情勢報告会では、宮島会長が参議院議員に当選してからの活動報告があり、臨床検査技師と医療をめぐる情勢については、すでに報道されている精度管理の法制化の動向について説明がありました。

全国幹事連絡会議は、28日午前9時から始まり、平成29年度事業計画(案)概要説明、質疑応答、平成29年度早々に開始されるeラーニングの運用について報告がありました。

事業計画(案)では、政府が進める「品質・精度管理に係る基準を定める根拠規定」に対応できる精度管理保証全般のシステム設計を目指し、精度保証準備室の立ち上げを検討すること。生涯教育研修制度の再構築を継続事業とし、卒前教育、臨床臨地実習を含めて、スキルアップ型の生涯教育を検討すること。国際協力事業では、グローバルな視野での活躍できる人材育成に向けた取り組み、渉外では、外来、病棟において臨床検査技師の専門性を生かして活躍できる人材育成、認知症対策への参画の重要性を広く啓発するとともに、認知症の早期発見・早期治療に貢献できる臨床検査技師の育成に取り組むこと。また、組織強化では、人材育成に主眼を置き、卒後3年目(2～5年)を中心とした日臨技主催の研修会を各都道府県へ展開、支部学会における中高生向け進路支援ガイダンスも引き続き実施し優秀な人材確保と入会促進に取り組むこと等、これらは事業計画の一部ではありますが、将来展望も含め目的を明確にした事業を展開していくこととなります。また、共済制度について、日臨技の「全員加入保険」が、平成29年度より会費納入がコンビニ払いの会員においても、保険の加入が出来ることとなります。また、保険の種類でAタイプとBタイプがありますが、全会員Aタイプの加入へ変更となります。

最後に、当会においても、日臨技及び支部と連携し、会員並びに県民のための事業展開を進めてまいります。今後とも日臨技並びに愛臨技の事業にご理解とご協力をお願い申し上げます。

# 平成 28 年度スキルアップ研修会に参加して

春日井市民病院 小池 清登



今年は「救急病態と臨床検査を繋ぐ」をテーマにした研修会となっており、臨床医が臨床検査や検査技師にどんなことを求めているのか、救急病態における検査データの判読のポイントなどを知る良い機会だと思い参加しました。

まず、救急検査概論では疾患の鑑別診断や緊急度から必要な検査、救急医療における臨床検査技師の役割などを講演して頂きました。続いて血液ガス、心電図、生化学検査、凝固検査などそれぞれの分野の専門家に検査データの見方を解説して頂き、より知識が深まりました。

血液ガスは、難しくて分からないと苦手意識を持っていました。しかし、今回の講演で血液ガスの基本的な見方、pHを見てアシドーシスかアルカロ-

シスか？それは、呼吸性か代謝性か？急激に生じている変化か持続的に生じている変化か？など順序立てた検査データの見方を教えて頂き、とても分かりやすく苦手意識がなくなりました。また、血液ガスからは私が考えている以上の情報が詰まっていることに大変驚きました。

正確な検査結果を報告することは検査技師にとって責務です。しかし、日常の検査と違い救急の検査は病態を把握するための検査として、正確性よりも迅速性に重きを置いており、このことを念頭に置いて検査をしていく必要があると感じました。

今回の研修会に参加して日常及び当直業務における総合的な知識を得ることが出来ました。今後の検査に役立てていきたいと思えます。



## New Year パーティーを開催して

組織部長 牛田 展浩

平成29年1月13日(金)、名古屋駅からもほど近い名古屋国際センタービル25階の東天紅にて愛臨技NewYearパーティーが開催されました。今年度は「愛臨技法人設立30周年記念」の冠を付けた記念すべき新年会でしたので、多くの方々に多方面にわたって参加の呼びかけをして頂きました。お陰様で会員95名、賛助会員116名、総勢211名の例年にない多数のご参加を頂く事ができました。

高層階で周りの眺望の素晴らしい中で、立食の中華料理に舌鼓を打ちながら参加者の方々の会話も弾

んで、非常に和気あいあいとした雰囲気でした。途中、賛助会員や学術部研究班員など無理やり壇上に上がってもらい、ひとことご挨拶や今年の抱負を発表して頂き盛り上がっていました。また、最後に女性技師の活躍を祈念して参加の女性全員にプレゼントといったサプライズもありました。

現在、愛臨技の会員はどんどん増えつつあります。組織強化や互いの親睦を深める意味でのこういった催しが果たす役割は大きいと思います。今後も是非、会員諸氏のご参加をお願い申し上げます。



## 尾張東地区・一般検査研究班合同研修会に参加して

平成29年1月14日に開催された尾張東地区・一般検査研究班合同研修会に参加しました。研修会のテーマは「ここが大切!!尿検査～日当直で失敗しないためのポイント～」でした。私は尿一般検査業務には従事しておらず、日当直時に携わる程度で経験も少ないため、尿一般検査に対して苦手意識や不安を抱いていました。少しでも自信を持って対応できるようになりたいと思い研修会に参加しました。

今回の研修会は、講演が4つの内容で分けられていました。「尿路感染について」、「血尿診断ガイドラインと赤血球の見かた」、「異型細胞について」の

名古屋市立東部医療センター 中央検査科 櫻井 裕之  
3つの講演では、基本的に抑えておかなければならないポイントを症例提示をふまえてわかりやすく教えていただきました。基本を再確認でき、とても有意義に感じました。ただ、「異型細胞について」の講演が時間の関係で大きく短縮されてしまい残念でした。また、「日当直時に気をつけたい尿検査のポイント」の講演では、医師が時間外に重視している尿沈渣成分や求めている付加情報についてのアンケート結果を示していただけました。臨床側が時間外の尿一般検査に求めているものを知ることができ、非常に参考となりました。

当日は、雪が降り大変な悪天候となりましたが、大変多くの参加者がありました。その点からも、多くの人の興味を引く充実した内容の研修会であったことを感じました。今回の研修会では、副題である「日当直で失敗しないためのポイント」をまさに教えていただけたと感じております。今回学んだことを今後の日当直時に活かし、迅速で正確な検査を実施していきたいと思えます。



## 尾張北地区研修会に参加して

名古屋医療センター 天雲 美里

NT-proBNP測定のメリットは、BNPと相関がある点と安定性があるので過去の検体に遡って検査できる点であると感じました。健診の際には心電図と併用することで、心疾患患者の早期発見早期治療につなげることができるということも分かりました。講演では循環器領域ばかりでなく泌尿器、内分泌領域におけるNT-proBNPの臨床的意義まで幅広く御説明頂きました。

当院の臨床検査科ではBNPを測定していますがNT-proBNPの測定を行っていません。今後、DPP-4阻害薬の適応が広まる中で、糖尿病と慢性心不全が合併した患者における心不全重症度の評価に関係して、臨床医からNT-proBNP測定の要請があるかもしれません。この点でも今回の講演はとても参考になりました。今後もこのような勉強会に積極的に参加し、学びを深めていきたいです。



平成29年1月27日、尾張北地区研修会に参加しました。仕事後の19時からの研修にもかかわらず出席者は多く、会員の方々の意識の高さがうかがえました。

はじめに地区理事より技師会活動の挨拶があり、その後研修が始まりました。

テーマは「あなたは大丈夫？生活習慣病！－心疾患マーカー NT-proBNP、検診での意義－」で、岡田陽一先生(ロシュダイアグノスティクス株式会社)からNT-proBNPとは何かという基礎的な部分から分かりやすくご教示頂きました。BNPは心臓の負荷により生成され血中に放出されること、その際にNT-proBNPも生成され放出されること、NT-proBNPはBNPと異なり蛋白分解酵素による分解や受容体に結合した代謝・分解を受けないことなど、自分の中で曖昧であったBNPとNT-proBNPの相違点を理解することができました。



## 尾張南地区研修会に参加して

JCHO中京病院検査部 楠木 啓史

平成29年1月28日に開催された尾張南地区研修会に参加しました。今回は中京病院救急科の大須賀章倫先生に「名古屋南部の救命救急センターの現況 - 熱傷（外傷）と免疫-」と題し、講演していただきました。

救急医は外傷患者が適切な診療を受けられず、死亡してしまう症例を「防ぎえた外傷死」として捉えており、いかに助けるかが救急医の腕の見せ所と語っていました。そのため、救急外来では目に見えるところだけでなく、全体を診て、刻一刻と変化する患者の状態を評価しているそうです。そんななか、臨床検査技師に対しては、処置を行う部屋の近くで輸血・緊急検査を行い、チームの一員として活躍することに期待していました。さらに、できたら研究への参加も…と本音を漏らされていました。

中京病院は全国トップの熱傷の治療実績を有する病院です。その症例データから、熱傷患者の死亡例では白血球や血小板の数値の推移に違いが見られることが示されました。最新の検査項目でなくとも既



存の検査項目でも十分に評価できることが示唆されており、非常に興味深い内容でした。また、便のpHも生死を分ける有益な情報となることも話されていました。

今回、研修会で学んだことをふまえ、データを判断できるよう努めていきたいです。さらには、救急医の期待に応えられるよう研鑽していきたいと思えます。

## VCT事業ボランティア募集について

愛知県臨床検査技師会では、特定非営利活動法人HIVと人権・情報センターが行うVCT事業(Voluntary Counseling and Confidential Testing: カウンセリングを伴う自主的なHIV抗体検査)へ当会の公益事業として協力しております。

この度、下記の要領で有志ボランティアを募集いたします。

日時：毎月第2、第4日曜日  
午後1時～午後5時頃

場所：名古屋市青少年文化センター9階  
第3研修室（ナディアパーク内）

事業内容：・年1回程度の参加  
・イムノクロマトグラフィー法を用いたHIV抗原・抗体検査（最大50件）を2人で担当

募集人数：若干名

募集要項：

交通費、謝礼（図書券1,000円）支給

申込方法：

氏名、施設名、技師会会員番号、住所、電話番号、メールアドレスを記入のうえ、下記メールアドレスまで送信または郵送でお送りください。

申込締切：平成29年5月31日(水)

連絡先：〒486-8510 春日井市鷹来町1-1-1

春日井市民病院 医療情報センター

後藤慎一（ゴトウ シンイチ）

0568-57-0057（内7285）

メール：goto\_lab@hospital.kasugai.aichi.jp



《生涯教育認定登録団体研究会のご案内》

## 第18回西三河がんフォーラム

基礎教科：20点

日時：平成29年3月22日(水) 18:30～20:00

場所：安城更生病院 2階 講堂

テーマ：『がん患者とその家族に寄り添う支援を考える』

講師：名古屋大学医学附属病院 小児科  
佐々木美和

司会：安城更生病院 小児科代表部長

宮島 雄二

参加費：無料

内容：当院は地域がん診療連携拠点病院として、がん治療の三大療法である手術療法、放射線治療、化学療法に力を入れていますが、がん治療をより効果的に進めていくためには医学的な力だけでなく、患者やその家族を取り巻く環境や心理的要因が大きく影響すると言われています。そこで今回は、患者本人及び家族の心理的ケアに焦点をおき、入院中の子どもやその家族に、心理社会的支援についてライフチャイルドスペシャリストの佐々木美和先生に「がん患者とその家族に寄り添う支援を考える」と題し講演していただきます。西三河地区のがん診療に従事する医療者と共に患者及び家族に対する心理社会的支援について学びたいと思います。



《生涯教育認定登録団体研究会のご案内》

## 第61回 愛知県糖尿病療養指導研究会 学術講演会

テーマ：在宅における糖尿病の運動療法と  
妊娠糖尿病のための食事療法

日時：平成29年4月2日(日) 13:00～16:20

場所：名古屋大学医学部附属病院

中央診療棟3階講堂

一般講演 (13:05～14:05)

・高齢糖尿病患者に対する運動療法

－在宅での介入を中心に－

済生会金沢訪問看護ステーション 理学療法士  
古矢 泰子

・当院の妊娠糖尿病患者指導と課題

半田市立半田病院 栄養科 粕壁美佐子

特別講演 (15:00～16:20)

妊娠糖尿病の栄養管理と栄養指導

愛知学泉大学 家政学部 家政学科

准教授 浅田 英嗣

★本講演会は、「日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修会」として第1群1単位、第2群1単位が認定予定です。どちらかを選択してください。

【参加費】 愛知県糖尿病療養指導研究会会員無料、  
その他参加者1,000円

2017年2月10日現在 正会員数 3,152名

### お知らせ

生涯教育点数が関係する行事に参加される方は、必ず会員証をお持ち下さい。

会員証をお忘れになった方は、自己申請して頂くことになります。

申請用紙は愛臨技HPの各種手続きにあります。

## 講演会

### 生殖医学検査研究班

基礎教科：20点

日時：平成29年4月8日(土) 15:30～17:00

場所：名古屋市東区東桜1丁目1番10号  
アーバンネット名古屋ビル20階  
シスメックス リップルスクエア

テーマ：夫婦円満セミナー

演題名：「夫婦を救う言葉を知っていますか？」  
～夫婦再生カウンセリングの現場でみた  
真実～

講師：夫婦再生カウンセリング名古屋

代表 下木修一郎

司会：小牧市民病院 藤田 京子

内容：夫婦がより一層仲良くなるためのヒント  
や、些細だけれども積み重なってしまう  
トラブルの解消法を中心に、不妊治療を  
継続していくうちに夫婦間で生じてしま  
う問題についてもお話しいただきます。  
生殖分野に携わる技師だけでなく一般の  
方々にも、既婚者はもちろん、これから  
結婚される独身の方々にも、幅広く聴講  
していただきたい講演会です。ぜひご参  
加ください。

## 研究会

### 生物化学分析検査研究班

専門教科：20点

日時：平成29年4月1日(土) 14:30～17:00

場所：(株)スズケン 名古屋支店 2階会議室  
名古屋市東区東片端町1

テーマ：移植医療の現状

講師：

1. 誰でも始められる免疫抑制剤のTDM

～最新トピックを交えて～

ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社

寺田 彩子

2. 臓器提供の流れと実際

公益社団法人 日本臓器移植ネットワーク

後藤 清美

藤田保健衛生大学病院

加藤 櫻子

司会：名古屋大学医学部附属病院

有馬 武史

愛知医科大学病院

大坪 弘明

内容：2010年の臓器移植法改正により、国内に  
おける脳死ドナー数や、移植実施件数は  
増加しております。今回は、移植後に用  
いられる免疫抑制剤の管理や、臓器移植  
における一連の流れについて解説してい  
たいただきます。

## 研究会

### 微生物検査研究班

専門教科：20点

日時：平成29年4月1日(土) 15:30～18:00

場所：リップルスクエア

アーバンネット名古屋ビル20F

久屋大通駅5A出口より徒歩1分

テーマ1：学会レビュー

『第28回日本臨床微生物学会の発表を詳  
しく聴いてみたい!』

講演：「DPS192iXを使用した迅速薬剤感受性試  
験に関する基礎的検討」

名古屋第二赤十字病院 原 祐樹

「MALDI-TOF MSを用いた糸状菌のOn-  
plateギ酸処理法に関する検討」

刈谷豊田総合病院 松井奈津子

司会：江南厚生病院

河内 誠

テーマ2：学会シンポジウムレビュー

講演：「基幹病院におけるin-house耐性遺伝子  
検査の臨床的有用性

～感染制御の観点から～」

愛知医科大学病院 坂梨 大輔

「感染対策に貢献するPOCTの現状と今  
後の展望」

江南厚生病院

舟橋 恵二

司会：刈谷豊田総合病院

蔵前 仁



# AiCCLS

## 愛知県臨床検査標準化協議会

### 通信 (第47回)

愛知県臨床検査標準化協議会 (Aichi Committee for Clinical Laboratory Standardization : AiCCLS) は、愛知県下の医療施設への臨床検査標準化の啓発活動を軸とした質の高い検査結果の共有維持を目的として、活動しています。

今回は、新しく発刊された刊行物、「呼吸機能検査における手引書」についてご紹介いたします。

呼吸機能検査を必要とする被検者がどの医療機関でもどの検査者でも同レベルの結果が得られることにより、医療の質の向上につながるため、この手引書が皆さんに広く利用されるためガイドラインを作成しました、是非ご活用ください。今回は“努力性肺活量 掛け声のタイミングと例”を抜粋しました。

詳しい内容、購入方法については、公益社団法人 愛知県臨床検査技師会HPの臨床検査標準化情報をご覧ください。

(AiCCLS : 愛知県臨床検査標準化協議会)

## VI. 呼吸機能検査の実際

### 2. 努力性肺活量

#### 1) 検査の実際

基本的にはVC測定のポイントと同様であるが、フローボリューム曲線では最大吸気からできるだけ勢いよく吐かせるための、タイミングよい声かけが重要である。

#### (1) 検査の説明

##### 【説明の例】

- ・この検査は吐き出す力と吸う力を調べます。
- ・胸一杯息を吸ったところから「吐いて」と言いますから、勢いよく一気に最後まで吐ききってください。
- ・吐けなくなったら「吸って」と言いますから、一気に胸一杯吸ってください。
- ・吐き出す時は目の前の紙を速くへ吹き飛ばすように勢いよくお願いします。(ティッシュペーパーなどを使い、吹いて見せて、実際に被検者に吹いてもらう。)

・何度も行うと大変ですから、努力してできるだけ少ない回数で終わるように、一緒に頑張りましょう。

#### (2) 検査の進め方

掛け声のタイミングを図 17 に示す

- ①普通に楽な呼吸をして下さい
- ②胸一杯に吸って～
- ③もう一息スーと吸って～
- ④吐いて！！
- ⑤吐いて！～
- ⑥まだ吐けてますよ～最後まで～
- ⑦もう一息フーと吐いて～
- ⑧吐けなくなったら一気に吸って～
- ⑨胸一杯吸って～
- ⑩はい、楽にしてください

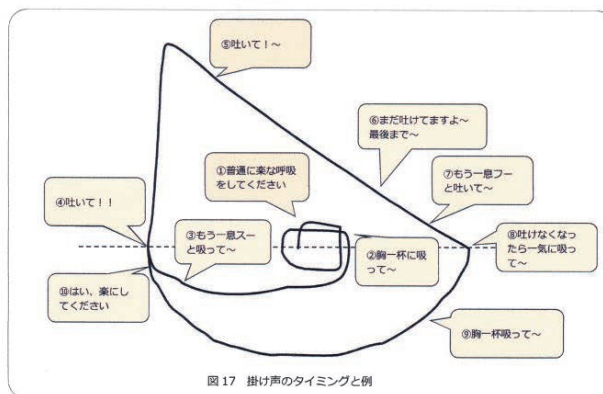


図 17 掛け声のタイミングと例

#### 【掛け声のコツ】

被検者の呼吸に合わせて掛け声をかけることが大事である。図 17 のポイント点でのコツを示す。

- ③最大吸気位の一步手前で、もう一息スーと胸一杯吸わせ、一瞬のタメ (最大吸気の確認) から、④の「吐いて！！」と力強く掛け声をかける。「・・・して下さい」など丁寧な言葉遣いや長い掛け声はタイミングを逸する。
- ⑤「吐いて！～」の後も「吐いて！～」など声をかけ続ける。沈黙があると途中で止めてしまうことがある。
- ⑥「最後まで～」 「もう一息」と声をかけ、最大呼気位まで呼出させる。最低 6 秒以上呼吸努力を続けるように声をかけ、最低 2 秒以上呼気量に変化しないことを確認する。先に肺活量検査を行っている場合、その VC を参考に、閉塞性換気障害患者で呼気排出がわずかずつ持続している場合は 15 秒を超えたら吸気を促す。被検者の状態に十分注意を払う。